



沿線市民と共に活動し完成した市道坂井多度線

日頃は議員活動に、ご協力いただきありがとうございます。

この夏は、3年ぶりに行動制限が無く、各地で賑わいの復活が見られました。桑名市におきましても、桑名水郷花火大会、桑名石取祭が開催され、熱気のある「桑名らしい夏」を感じることができたと思います。新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るう最中ですが、新型コロナウイルスに怯むことなく次のフェーズへ一歩踏み出したいと思います。7月28日には「愛敬重之後援会総会」を開催し後援会活動が始まっています。11月20日選挙に向けがんばりますので皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



71号では、令和4年第3回市議会定例会の一般質問を中心にご報告します。

令和4年第3回定例会一般質問報告です！

第1回定例会に引き続き市長の7つのビジョンの中から一般質問をさせていただきました。

今回は、公共交通・桑名水郷花火大会・NTN総合運動公園・桑名オープンフィールド構想の4項目について質問しました。

◎今回一般質問内容の紹介

1. 公共交通のメンテナンスについて

●鉄道での付帯設備の故障時及びその後における市の対応について

・播磨第2号の踏切が遮断機も下りたまま朝の3:30から6時前までなり続けていた。企業の1部従業員が通勤する時間帯で渋滞が発生しかけていたので近くの市民の方と従業員の皆さんを誘導し、大渋滞を防ぐことができた。その間、鉄道会社に電話をかけてもガイダンスだけで桑名駅に電話し、ようやく対応された。付帯設備も老朽化しており、他の設備や沿線の除草作業などどのような計画で実施されているのか。

●市の回答（抜粋）

- ・平成30年1月に桑名市を含めた沿線3市4町において「一般社団法人養老線管理機構」を設立し、第3種鉄道事業者として、鉄道施設保有および維持管理を行っており、養老鉄道株式会社が第2種鉄道事業者として運行を管理している。
- ・全線開通後100年以上が経過し、全体的に施設の老朽化が進んでいる。そのため養老鉄道と養老線管理機構が協議を行ない、鉄道施設維持修繕計画を立てているが、今回のケースは経年劣化による踏切制御機器の不具合が原因で発生した。
- ・市としても今回の案件も含め安全・安定的な鉄道運行に必要な維持管理について計画を持って実施されるよう努めていく。



故障があった踏切

2. 桑名水郷花火大会について

●今年の大会の検証と今後について

- ・今後の花火大会について花火の構成、時間など、今後の新型コロナウイルス感染症が収束した後の花火大会について市としてどのように考えているのか。

●市の回答（抜粋）

- ・今後について考えていく課題や効果的なことなどを新たに認識することができたので、そのなかで、3点説明する。
- ・1点目は、構成や時間についてである。今回は時間短縮を図るため、協賛企業ごとの花火ではなく、大きく3部構成にし、ひとつにまとめたことで大会全体として魅力を高めることができた。交通規制時間も短縮できた。
- ・2点目は、会場内での食事などの制限をかけたことにより、翌日の清掃時に道路や堤防上にほとんどゴミがなく非常にきれいであった。
堤防道路に露店などが無かったため、道路幅が確実に確保されたことや、花火大会後に道路上での人の滞留が無かったことから、交通規制が予定より早く解除できた。
- ・3点目は、インターネット中継やメタバースの活用によって、感染症により帰省を控えていた方から、故郷の花火大会を楽しむことができたといった声をもらい、今の時代と状況に合わせた人それぞれの多様な楽しみ方を提供できた。予算や運営面での様々な課題については、幅広く民間のノウハウなどもフルに活用していく。

3. NTN 総合運動公園について

●総合運動公園内の各施設をつなぐ園路整備の意向は？

- ・当初の計画ではグラウンドゴルフ場からサッカーグラウンドまで橋をかけて園路をつなぐ予定であったが、過去の答弁より、テニスコートからサッカーグラウンドにつなぐ園路のほうが現実的で総合管理棟の利用率があがると答弁があったがいかがか。

●市の回答（抜粋）

- ・未整備施設の計画とともに動線を考慮し、議員提案の内容も含め、利用者の方々の利便性ならびに安全性が確保された園路となるよう、整備を進める。

●各スポーツ施設への専用管理棟設置の必要性をどのように考えているか？

- ・女子サッカーチームも最近は利用が多くなっており倉庫内に仮設のロッカールームを作ってもらったがシャワー室、更衣室、ミーティングルームは必要と考える。

●市の回答（抜粋）

- ・総合運動公園整備事業は、現在も計画に沿って整備を進めている最中である。まずは、計画に沿って整備を進めていきたい。今後は、利用者のご意見、議員の指摘も踏まえ、新しい整備をしていく。施設と共有することも視野に入れ、施設整備を進める。

●多目的広場を競技場へ規格変更する意向は？

- ・多目的広場も受益者負担を考え使用料から施設修繕ができると考えるし、同時に競技場として運営すれば記録会も公認となり記録を求め中部地方や関西地方からも利用者が増えると思うが市の考えはいかがか。

●市の回答（抜粋）

- ・現在、ライフサイクルの算定を行ない、修繕計画を策定している。今後、改修方法が決まった段階においてこれまでと同様、多目的広場とするのか、規格変更して公式の記録会が開催できるような有料の施設とするのかも、併せて検討したい。

●国への設計変更の必要性と時期について、どのように考えているのか

- ・当初の計画から30年以上が経過をしており、今の時代にあった設計変更が必要と考える。

●市の回答（抜粋）

- ・総合運動公園整備事業については、既に計画から30年以上経過している。今後の施設整備状況に合わせ、必要に応じて変更していきたいと考えている。



倉庫内に仮設で作られた更衣室及びロッカールーム



劣化したタータントラック

4. 桑名オープンフィールド構想について

●桑名オープンフィールド構想から、まちづくりに望むことは何か？

- ・第1弾の取組みとして、三重大学・桑名市・桑名市総合医療センターとで相互連携・協力し、地域経済の活性化や地域医療の充実、市民が安心して暮らせるまちづくりを実現とあるが、市が期待するまちづくりとは何か。

●市の回答（抜粋）

- ・桑名をフィールドとして、ステークホルダーなどの意見も聞きながら、様々なアイデアや技術を活かした取組みを進めることで、社会の変化に対応した新たなかたちでのサービス提供の可能性を拓き、市民の皆さんが安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現へつなぐと考える。